

# 宮城県一迫商業高等学校

## 令和5年度 学校評価アンケート（まとめ）

質問項目：27項目

（宮城県公立高等学校共通項目：14項目、学校独自の質問項目13項目）

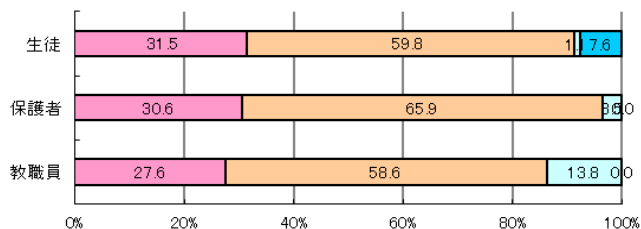
【回収率】 生徒：92/96（95.8%） 保護者：85/96（88.5%） 教職員：29/29（100%）

【評価】 1：よく当てはまる 2：だいたい当てはまる 3：あまり当てはまらない 4：当てはまらない

### [宮城県公立高等学校共通項目]

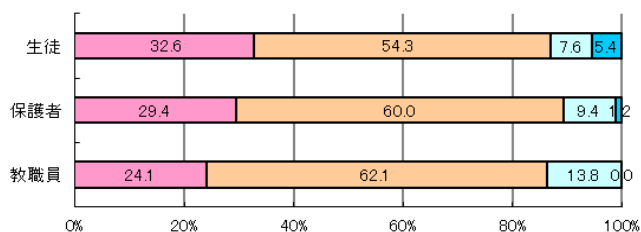
1. 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている（教育課程）

(%)	1	2	3	4
生徒	31.5	59.8	1.1	7.6
保護者	30.6	65.9	3.5	0.0
教職員	27.6	58.6	13.8	0.0



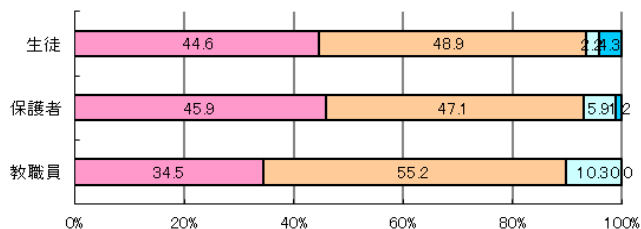
2. お子様の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている（学習指導）

(%)	1	2	3	4
生徒	32.6	54.3	7.6	5.4
保護者	29.4	60.0	9.4	1.2
教職員	24.1	62.1	13.8	0.0



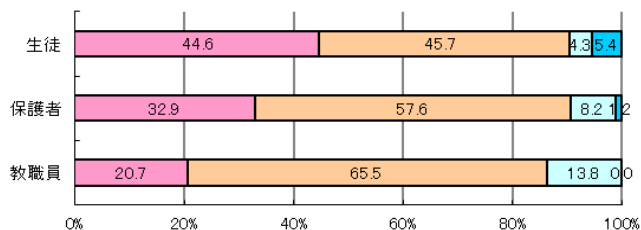
3. 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）

(%)	1	2	3	4
生徒	44.6	48.9	2.2	4.3
保護者	45.9	47.1	5.9	1.2
教職員	34.5	55.2	10.3	0.0



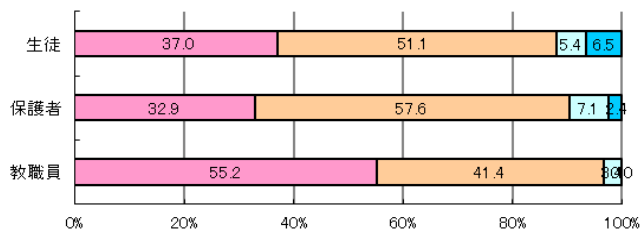
4. お子様の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）

(%)	1	2	3	4
生徒	44.6	45.7	4.3	5.4
保護者	32.9	57.6	8.2	1.2
教職員	20.7	65.5	13.8	0.0



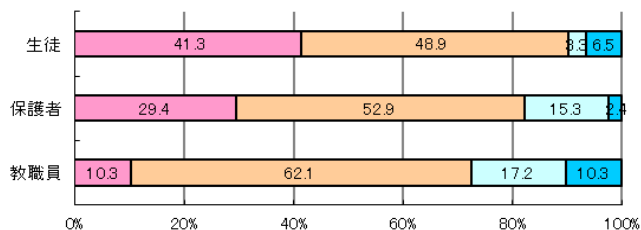
5. 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）

(%)	1	2	3	4
生徒	37.0	51.1	5.4	6.5
保護者	32.9	57.6	7.1	2.4
教職員	55.2	41.4	3.4	0.0



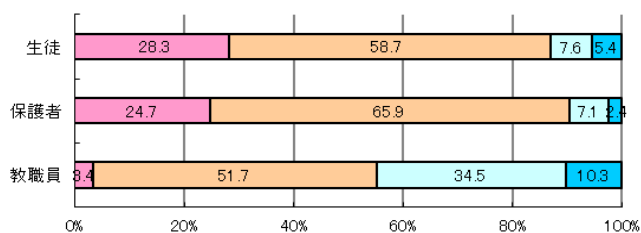
6. 学校として、部活動は活発に行われている（部活動）

(%)	1	2	3	4
生徒	41.3	48.9	3.3	6.5
保護者	29.4	52.9	15.3	2.4
教職員	10.3	62.1	17.2	10.3



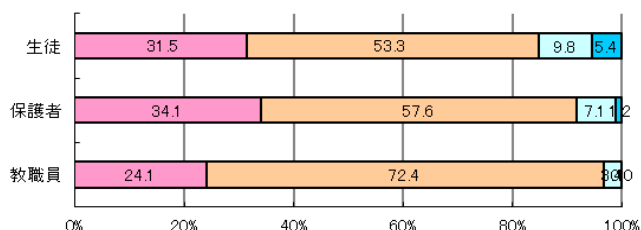
7. 学校として、生徒会活動は活発に行われている（生徒会活動）

(%)	1	2	3	4
生徒	28.3	58.7	7.6	5.4
保護者	24.7	65.9	7.1	2.4
教職員	3.4	51.7	34.5	10.3



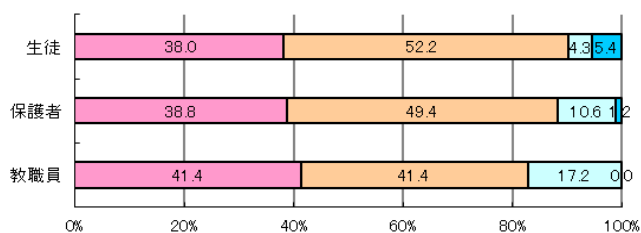
8. お子様にとって、有意義な学校行事がある（学校行事）

(%)	1	2	3	4
生徒	31.5	53.3	9.8	5.4
保護者	34.1	57.6	7.1	1.2
教職員	24.1	72.4	3.4	0.0



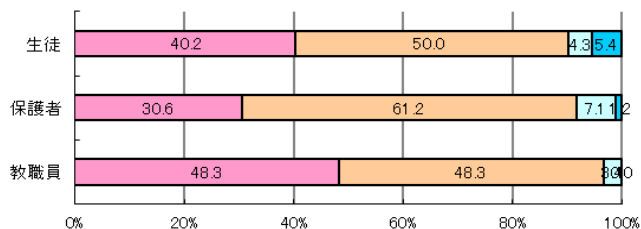
9. 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）

(%)	1	2	3	4
生徒	38.0	52.2	4.3	5.4
保護者	38.8	49.4	10.6	1.2
教職員	41.4	41.4	17.2	0.0



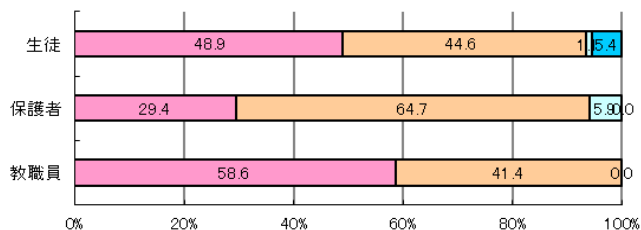
10. 保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）

(%)	1	2	3	4
生徒	40.2	50.0	4.3	5.4
保護者	30.6	61.2	7.1	1.2
教職員	48.3	48.3	3.4	0.0



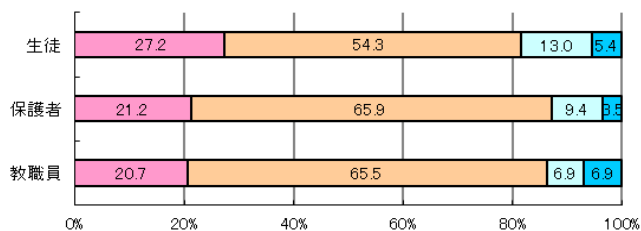
11. 保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）

(%)	1	2	3	4
生徒	48.9	44.6	1.1	5.4
保護者	29.4	64.7	5.9	0.0
教職員	58.6	41.4	0.0	0.0



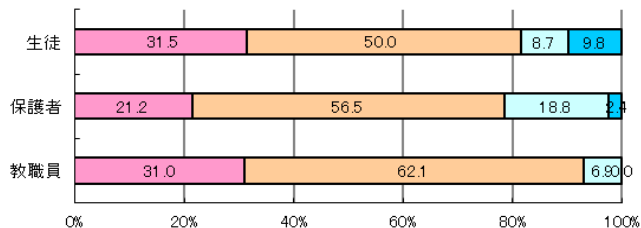
12. 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）

(%)	1	2	3	4
生徒	27.2	54.3	13	5.4
保護者	21.2	65.9	9.4	3.5
教職員	20.7	65.5	6.9	6.9



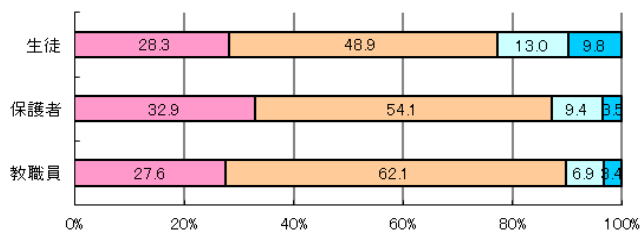
13. 学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている（いじめ問題）

(%)	1	2	3	4
生徒	31.5	50.0	8.7	9.8
保護者	21.2	56.5	18.8	2.4
教職員	31.0	62.1	6.9	0.0



14. お子様の学校生活は充実している（総合満足度）

(%)	1	2	3	4
生徒	28.3	48.9	13.0	9.8
保護者	32.9	54.1	9.4	3.5
教職員	27.6	62.1	6.9	3.4



## [宮城県公立高等学校共通項目] 結果データの分析

### (生徒・保護者データの分析)

生徒・保護者ともに肯定的評価が、90%以上となったものが5項目、80%以上となったものを含めると12項目となった。特に質問項目1「学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成されている。」が生徒91.3%、保護者96.5%と高い評価となっており、商業に関する知識や技術が習得でき、デュアルシステムによる実践的な学習内容が評価されていると思われる。また、生徒と保護者の評価で差があるものは質問項目6「学校として部活動は活発に行われている」で、生徒90.2%、保護者82.4%となった。ともに低い評価ではないが、部活動の活動状況や結果など保護者にもあらゆる方法で伝えていく必要がある。

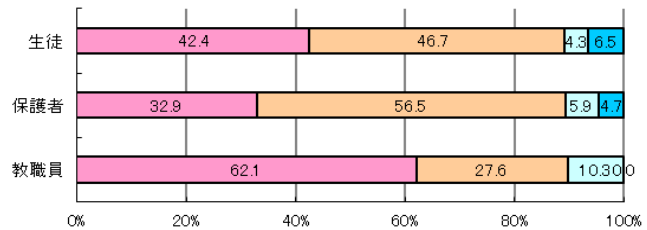
質問項目13「学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている」について、保護者の肯定的評価が78.8%と80%を下回る結果となった。この結果から、本校のいじめ対策に関する方針や取り組みに関してホームページに掲載してはいるものの、周知が行き届いていないことがわかった。今後は、年度始めにe-メールやプリントの配布を活用したりすることで、保護者と取組方針の確かな共有といじめに対する徹底した体制を築いていく。

質問項目14「学校生活は充実している」について、生徒の肯定的意見が77.2%と前年度の81.1%から3.9ポイントの低下となった。学校行事等もコロナ禍以前のような開催が可能となっている今、学校行事を活かしてメリハリをもった学校経営に努めていくとともに、生徒・教職員一丸となって学校生活を充実したものにしていきたい。

## [学校独自の設定項目]

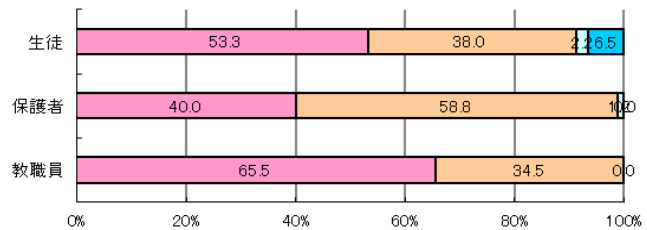
15. 本校の校訓『誠実・自律・奉仕』を知っている

(%)	1	2	3	4
生徒	42.4	46.7	4.3	6.5
保護者	32.9	56.5	5.9	4.7
教職員	62.1	27.6	10.3	0.0



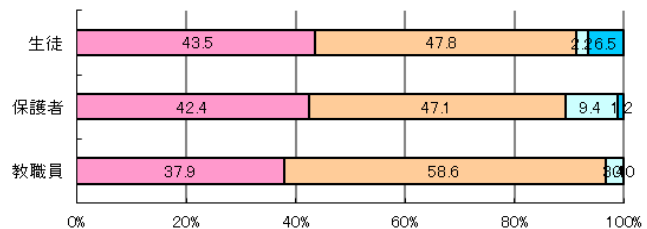
16. 本校の授業日数や授業時数は十分に確保されている

(%)	1	2	3	4
生徒	53.3	38.0	2.2	6.5
保護者	40.0	58.8	1.2	0.0
教職員	65.5	34.5	0.0	0.0



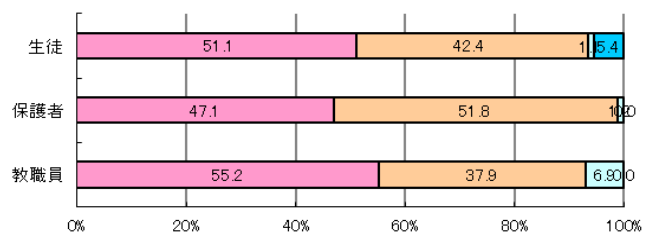
17. 本校では、学力の向上に向けた対策を十分に実施している

(%)	1	2	3	4
生徒	43.5	47.8	2.2	6.5
保護者	42.4	47.1	9.4	1.2
教職員	37.9	58.6	3.4	0.0



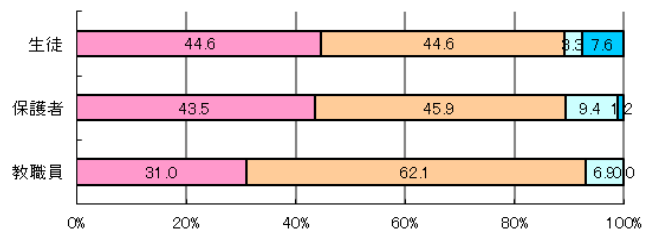
18. 本校のICT機器（パソコンなど）の学習環境は整っている

(%)	1	2	3	4
生徒	51.1	42.4	1.1	5.4
保護者	47.1	51.8	1.2	0.0
教職員	55.2	37.9	6.9	0.0



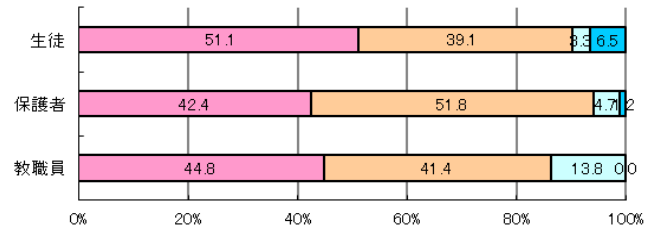
19. 本校の生徒は、しっかりあいさつをしている

(%)	1	2	3	4
生徒	44.6	44.6	3.3	7.6
保護者	43.5	45.9	9.4	1.2
教職員	31.0	62.1	6.9	0.0



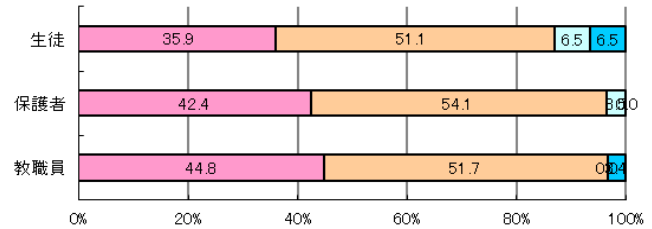
20. 本校では、生徒の生活（頭髪や服装を含む）指導を適切に行っている

(%)	1	2	3	4
生徒	51.1	39.1	3.3	6.5
保護者	42.4	51.8	4.7	1.2
教職員	44.8	41.4	13.8	0.0



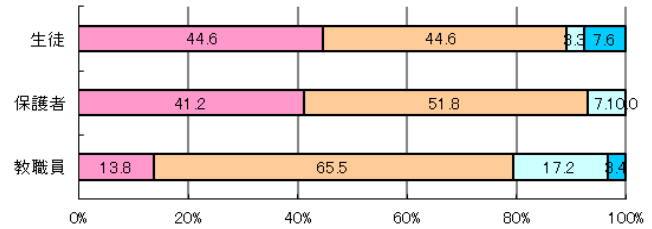
21. 本校は、清掃など美化に努めている

(%)	1	2	3	4
生徒	35.9	51.1	6.5	6.5
保護者	42.4	54.1	3.5	0.0
教職員	44.8	51.7	0.0	3.4



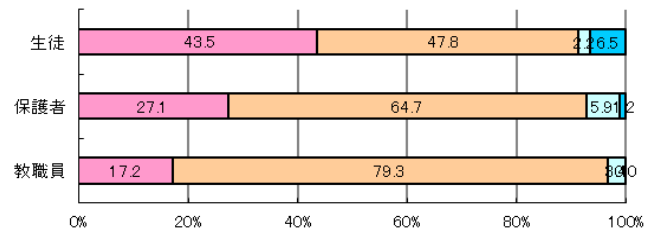
22. 本校の生徒は、自主的・自発的に学校行事に参加している

(%)	1	2	3	4
生徒	44.6	44.6	3.3	7.6
保護者	41.2	51.8	7.1	0.0
教職員	13.8	65.5	17.2	3.4



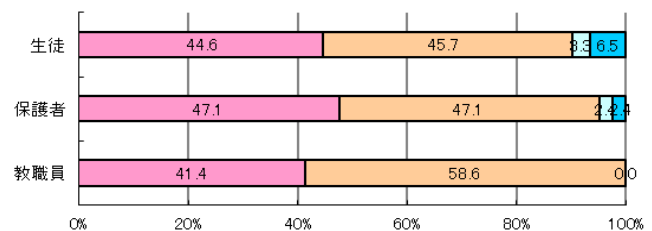
23. 本校では、生徒が希望する進路を達成している

(%)	1	2	3	4
生徒	43.5	47.8	2.2	6.5
保護者	27.1	64.7	5.9	1.2
教職員	17.2	79.3	3.4	0.0



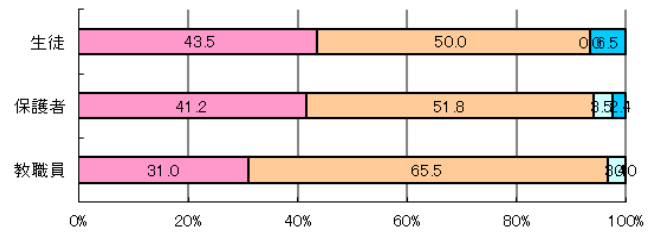
24. 本校の職員は、礼儀正しく親切に対応している

(%)	1	2	3	4
生徒	44.6	45.7	3.3	6.5
保護者	47.1	47.1	2.4	2.4
教職員	41.4	58.6	0.0	0.0



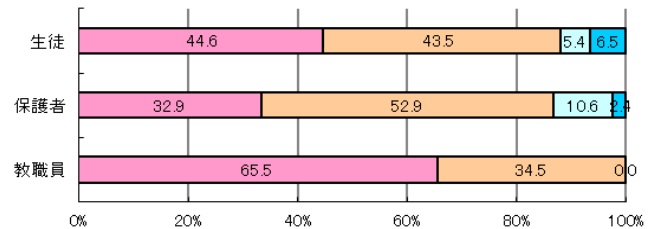
25. 本校の職員も生徒も、主体的に教育活動にあたっている

(%)	1	2	3	4
生徒	43.5	50.0	0.0	6.5
保護者	41.2	51.8	3.5	2.4
教職員	31.0	65.5	3.4	0.0



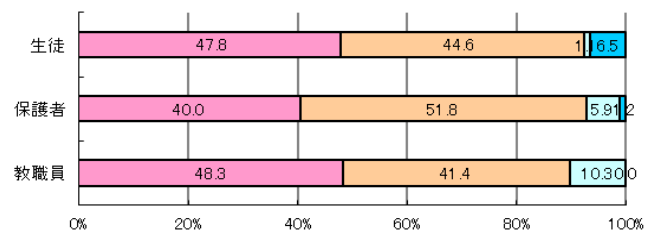
26. 本校が実施している栗原版デュアルシステム（企業実習・起業家研究・販売実習）の取り組みを知っている

(%)	1	2	3	4
生徒	44.6	43.5	5.4	6.5
保護者	32.9	52.9	10.6	2.4
教職員	65.5	34.5	0.0	0.0



27. 本校の教育活動は、地域貢献につながっている

(%)	1	2	3	4
生徒	47.8	44.6	1.1	6.5
保護者	40.0	51.8	5.9	1.2
教職員	48.3	41.4	10.3	0.0



## [学校独自の設定項目] 結果データの分析

### 質問項目16～18

生徒・保護者ともに、3項目とも肯定的評価が高い数値となっているが、生徒の数値に関しては前年度と比較しすべての項目でポイントが低下している。特に、質問項目16「授業日数や授業時数は十分に確保されている」は8.7ポイント低下している。このことから、授業日数や時数が十分に確保されていないと感じている生徒が増えていることが読み取れる。

質問項目17「学力の向上に向けた対策を十分に実施している」では、生徒・保護者ともに前年度からポイントが低下している。今後は、学力向上に向けた取組について、KGタイムや基礎科目の増単を行っている意味を生徒・保護者に説明し実施したい。

質問項目18「ICT機器の学習環境は整っている」については、授業での活用の不足やエアコンの不具合によるPC室の使用制限などの影響が考えられる。早急の復旧に努めていくと共に、ICTの活用を推進していきたい。

### 質問項目19～22

生徒の回答について、すべての項目において前年度と比較し肯定的評価が低下している。特に、質問項目19「本校の生徒は、しっかりあいさつをしている」は7.1ポイント低下し、質問項目21「本校は、清掃など美化に努めている。」は10.9ポイント低下する結果となった。

質問項目19に関しては、本校の伝統または象徴である「あいさつ」が低い数値になったことを踏まえ、今後は形式張ったあいさつにとらわれず、心を込めたあいさつを互いに交わしていきたい。

質問項目21に関しては、毎年の生徒減少に伴い、清掃箇所や班の構成（男女比率を考慮したトイレの清掃など）に苦慮している。そして、教職員の数も限られているため、使用教室すべてを担当割りすることが困難であった。それらを解消するために、今年度より毎月末に「特別清掃」と称して、普段清掃できていない教室等を割り当てることで校舎敷地内の環境美化に努めている。今後も、班編成や清掃箇所の検討を踏まえ、工夫と改善を図りながら美化に努めていきたい。

また、質問項目22「本校の生徒は、自主的・自発的に学校行事に参加している」では、89.1%と前年度より4.6ポイント低下する結果となった。理由として、教職員と生徒間でのコミュニケーションの増加や準備への協力など、教職員も積極的に生徒と学校行事の運営に携わった結果、以前よりも生徒と教職員の活動量の比率が教職員に偏ってしまっていたことが考えられる。今後は、スケジュール管理やプロセスの共有などベースを共に考えながら、生徒が自発的かつ主体的に活動に取り組めるように改善を図っていく。

### 質問項目23～27

各項目で概ね肯定的評価が高くなっているが、質問項目26「本校が実施している栗原版デュアルシステムの取り組みを知っている」が生徒、保護者ともに他の項目よりも低い結果となった。デュアルシステムの認知をさらに広げていきたい。